



# はいのたね



## 院長 井上文之より 挨拶



例年になく厳しい大雪の冬もやっと終わり、暖かい穏やかな春がやってきました。さて、この度、当院は個人病院としての井上病院を改め、平成26年4月1日をもちまして、医療法人達磨会 井上病院を設立する運びとなりました。職員一同、更なる地域医療の発展を図るべく、決意を新たに頑張っていく所存でございます。この達磨会（だるまかい）の命名の意味は、二つあります。

一つ目は、「七転八起（ななころびやおき）」。絶対に倒れず、何度転んでもすぐ起き上がるという意味に由来するものです。これからどんな障害があっても、患者さんの幸福実現の為に、達磨会は常に立ち上がります。二つ目は、タネ屋であった私の父の屋号（ダルマ農園）に由来するものです。私は長男でありましたので、父は私にダルマ農園を引き継ぐように望んでいました。農園を引き継ぐことはできませんでしたが、せめて父の屋号であるダルマを引き継ぐ事とし、名を付けました。



本年2月に、全身麻酔手術と腰椎麻酔手術が開院以来1000例になりました。これもひとえに皆様方のご厚情とご支援の賜物と深く感謝しております。

この度、これを機に「はいのたね」を発刊する事となり、今回が初刊であります。

引き続き情報提供させて頂く所存でありますので、今後ともご愛読いただきますようお願い申し上げます。



## 地域医療連携室



2014年1月より、地域医療連携室を立ち上げました。患者様に安心して当院へ来院して頂けるよう、支援させていただきますので、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

## COPDの怖さをご存知ですか？ —COPD Q&A

（解答：高橋正彦医師）

Q：COPD どんな病気ですか？

A：COPD (chronic obstructive pulmonary disease) は日本語では「慢性閉塞性肺疾患」と言います。タバコの煙などの有害な空気を長期間に吸い込むことによって、気道や肺（肺胞）が障害される病気です。気管支などの空気の通り道を気道と言い、その障害により息を吸ったり吐いたり困難になります。肺（肺胞）ではガス交換（酸素を取り込み二酸化炭素を出す）を行い、その障害により酸欠になります。



その結果、息切れなどの症状が出ます。ほとんどが長期間にわたる喫煙習慣が原因であることから、COPDは肺の生活習慣病といわれています。

Q：COPDの原因は何ですか？

A：COPDは別名「タバコ病」とも言われるようにヘビースモーカーに多い病気で、患者の90%以上は重喫煙者です。喫煙以外の原因として、大気汚染や職業的な粉塵の吸入なども挙げられます。

Q：COPDの症状は？

A：COPDの代表的な症状は息切れです。初期には階段や坂道で息切れを感じますが、病気が進行すると安静時にも息切れを感じるようになります。また慢性的にひどい咳や汚い痰が出たり、慢性気管支炎の症状が出ます。喘息のような症状が出ることもあります。さらに症状が進行すると口すばめ呼吸をしたり、胸郭がピアダル状の体型になります。

Q：COPDの診断は？

A：COPDの診断には肺機能検査が有用です。肺機能検査は肺活量を測定する検査ですが、肺活量以外に最初の1秒間に吐き出させる空気の量なども測定でき、COPDの診断に有用です。COPDでは最初の1秒間に吐き出せる空気の量や割合が減少します。

胸部CT検査では肺のなかに空洞がたくさんできる肺気腫が見られます。

Q：COPDの治療は？

A：COPDの治療で最も重要なことは禁煙です。禁煙によりCOPDの進行が抑えられるだけでなく、喫煙による数多くに病期にかかりにくくなります。薬物療法では、ステロイド剤（炎症を抑える薬）気管支拡張剤（気管支を広げる）・去痰剤（痰の切れをよくする）・鎮咳剤（咳止め）・抗生物質（細菌を殺す）が有効な場合があります。病気が進行すれば酸素吸入が必要になります。

Q：COPDは治るのでしょうか？

A：治療によりCOPDの症状を緩和することができますが、障害された気道や肺（肺胞）は治りません。禁煙によりこれ以上進行させないことが重要です。

Q：どうすれば禁煙できますか？

A：禁煙を始めてもイライラしたり集中が欠けたりし、うまくいかなかった経験はありませんか？イライラや集中力が欠けるのはタバコの禁断症状です。タバコの1つの成分であるニコチンが欠乏することにより起こります。飲み薬を飲むことにより、これらの禁断症状が出にくくする禁煙治療があります。飲み薬のほかに貼り薬やガムなどもあります。もちろんタバコを止める強い意志も必要です。当院においても禁煙治療を行っております。禁煙でお困りの方はご相談下さい。

